



はくい (HAKUI)

平成 26 年 1 月号 (2014)

市議会だより

No.60

設置目的

- ① 市民に市議会の活動状況、情報を提供し、
- ② 市民との意思疎通手段を多重化しながら、
- ③ 市民の要望を市政に反映させるとともに、
- ④ 分権時代に向けた市議会の活性化を図る。

発行者／石川県羽咋市議会

編集者／市議会だより編集委員会

住 所／〒925-8501 石川県羽咋市旭町ア200番地

TEL 0767-22-7160 FAX 0767-22-7210

<http://www.city.hakui.ishikawa.jp>

CONTENTS

一般質問……………	2
各委員会報告……………	9
市民の声……………	10



新しい 14 人の議員

平成 25 年第 6 回定例会の概要

羽咋市議会議員の改選後、初めての定例会(平成 25 年第 6 回定例会)が 11 月 29 日から 12 月 16 日までの 18 日間開催された。提出された案件は平成 25 年度羽咋市一般会計補正予算など議案 15 件、報告 1 件の合計 16 件。

初日の提案理由説明で山辺市長は、本市の平成 24 年度の決算では、市税が大幅に減少する中「はくい再生プログラム」を策定し、予算の重点配分と国の有利な補助制度の活用や公債費の繰り上げ償還などの実施により、平成 23 年度に引き続き実質単年度収支の黒字を達成できたことなどを説明した。また、辻角副市長の再任を同意した。

12 月 9 日の質問日では、初当選した 3 人の議員を含め 11 人の議員が質問に立った。請願 6 件のうち 1 件を議員提出議案として提出し、可決。最終日の採決では、平成 25 年度一般会計補正予算案など議案 14 件、報告 1 件を原案のとおり可決、承認。請願 5 件のうち 3 件を不採択、2 件を継続審査とした。市長追加提出議案 1 件を同意、市長提出諮問 4 件を答申した。

また、今後も 14 人の議員全員、羽咋市議会一丸となって議会改革に取り組むとともに羽咋市の発展に努めたい。

議長・副議長就任あいさつ

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、平素より市議会の活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

私たちは、10月臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、第40代議長、第44代副議長に就任することとなりました。身に余る光栄であります。また、その使命と責任の重大さに身の引き締まる思いであります。

社会経済情勢の変化や地方分権の進展等により行政の果たす役割が拡大する中、市税収入の伸び悩みや医療、福祉、介護などの社会保障関係経費の増大、老朽化した社会インフラ対策などの財政需要の増加により、市の財政運営は、依然として厳しい状況におかれています。

山積する課題の多くは、一朝一夕に解決できるものではありません。市執行部とともに地方自治を担う車の両輪としての役割を果たし、常に市民の目線に立って市の施策を厳正にチェックするとともに、真摯な議論を十分に重ねながら、地域社会の健全な発展と市民福祉向上のために、全力を傾注していく所存であります。

円滑な議会運営に努めるのはもとより、世界農業遺産の認定を受け、一年後の新幹線開業、日本唯一の千里浜なぎさドライブウェイの名に恥じない地域づくりを進めるため、市民の皆様のことをしっかりと受け止めて、その負託に応えられるよう様々な課題に積極的に取り組んでまいりますので、皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



新田 義昭 議長



櫻井 英一 副議長



浅野 俊二 議員

元気な羽咋へ、打って出よ！



ちりはまホテルゆ華

「ちりはまホテルゆ華」を購入せよ！

【質問】 私はのと里山海道の取り付け道路の開発を何回も質問や提案をしてきた。例えば、楽市楽座、道の駅、砂像と、そしてライトアップ、火葬場の移転等。のと里山海道やなぎさドライブウェイと将来急増する国道415号バイパスからの車両や観光客を考えると、この場所は大変重要で、この施設は年間宿泊数が1万人を超え、滞在型観光の重要な施設であり、また、30人の地元雇用もあると聞く。①売却価格は坪15万円だったのが、今回の購入予定価格はいくらか。②利害者の調整や経営方針は。③この施設と道の駅との併用を考えているのか。④新たなお菓子等お土産と、行政の積極的な支援を。

【答弁】 京都市より、価格、取得経緯や今後の地

域振興などを考慮すると、本市に購入してもらうのが最善だとの結論に至ったと連絡がきた。①提示された金額は5千坪で1億3千万円、建物評価額をゼロと見れば坪2万6千円。

学校教育の充実を

【質問】 図書充足率は評価するが、古い蔵書の適切廃棄と今後とも国の基準を守れ。司書の増員と身分の改善、羽咋中学校の備品や部活動用具の充実をはかれ。

【教育長答弁】 ①適切に順次廃棄している。国の基準を上回るよう充実努める。部活備品は体育館完成に併せ購入する。

その他の質問

①志賀原発の再稼動について



活性化には熱意とスピード が決め手！

大塚 幸男 議員

地域資源を活用した交流人口の拡大

【質問】 北陸新幹線開業まであと1年少々、100年に1度のチャンスに、特徴的な対応が見られない。駅前整備や車の玄関口である「ちりはまホテルゆ華」の売却打診に早急な対応を求める。修学旅行や合宿の誘致に、市の明確な支援体制が必要。

駅東の宅造計画は10区画、これが若者定住のための低廉な宅地提供とは言えない。民間とのタイアップなど知恵を出し、積極対応を求める。

【答弁】 駅前の賑わい創出のため、駅周辺の全体整備計画を立てたい。長者川改修は県へ要望していく。「ホテルゆ華」の取得は、その効果や影響など総合的に検討し早急に方針決定したい。本市で合宿や研修を行う団体に、補助制度を新設したい。宅造は民間との協力も含め対策を考えたい。



羽咋駅

特別会計の適正運営

【質問】 下水道料金が値上げされても累積欠損金が減少せず、一般会計からの繰入金も減らない。接続率の向上なくして安易な値上げや繰入増は、到底市民理解が得られない。1人当たりの国保医療費は、県下3番目の高額であり、このままでは基金も枯渇し国保税の値上げとなる。ジェネリック医薬品の推進を図り、医療費の抑制に努めよ。

【答弁】 接続促進により健全経営に努める。国保医療費は高額で横ばい状態である。健診受診率向上により早期発見・治療とともにジェネリック医薬品の差額通知を行い利用促進に努める。

その他の質問

①国、県、市の学力テストの活用と公表のあり方



ヘルパーとデイサービスを とりあげないで！

北川 真知子 議員

ヘルパーは在宅生活の命綱

【質問】 政府は、社会保障を個人の責任とし、「まず自分で何とかしなさい」と「自助・自立」を原則とし、公費の投入を抑制して、負担増と給付の削減を進めている。介護認定・要支援1・2のサービスのうち訪問介護とデイサービスを市町村に移すとしたが、市に移行した場合、ヘルパーやデイサービスを今までと同じように受けられるように。

【答弁】 国から正確な改正内容が示されていないので回答できない。今後、国のガイドラインを基に適切に対応する。

下水道料金の値上げは使用量の少ない世帯に大きな負担

【質問】 市内1,300世帯の1か月の下水道使用量



はまなす団地交差点

は、約5㎡であり、基本使用量を10㎡にすると倍の金額を払うことになる。一般会計からの繰り入れで、使用量に応じた負担にすることと今より負担を増やさないように。

【答弁】 基本料金は、下水道使用水量の多少にかかわらず施設の固定的経費に充当するもの。下水道会計は独立採算性が原則であり、一般会計からの繰り入れは最小限にしたい。

その他の質問

- ①「子供の医療費窓口無料化」を
- ②千里浜インター入口、はまなす団地角の交差点に信号機の設置を
- ③国民健康保険税について



松永 幸則 議員

人が集まる羽咋にするため 行政対応を求む

羽咋を花いっぱいになっている
ボランティアの皆さん

安全な学校作りが最優先

【質問】 市内すべての学校が安全安心に教育を受けられるようにするために、新たなかつ継続的取り組みが必要と考える。また、保護者やPTAがより学校に関わりやすくできるような工夫を求める。

【教育長答弁】 各学校の特色ある取り組みを推進するとともに、楽しくわかる授業づくりとお互いに認め合う共感的な学級づくりを基盤とし、教職員の資質、能力の向上により一層努めたい。また、今後も羽咋教育ビジョンの基本目標である学校・家庭・地域が協働する“子育て共同体”づくりを目指し、よりよい協力体制が築かれるよう努力したい。

市職員の側からも市民に寄り添おうとする姿勢を

【質問】 町会長連合会からの要望にもあったが、協働の町づくりを掲げるのであれば、市職員もボランティアや地域活動へ積極的に参加をすべきでは。

【答弁】 より積極的に地域行事等へ参加し、地域の実情や要望などの把握に努めるよう、職員にいま一度指示したい。

その他の質問

- ①教育に優れたまちを目指すことについて
- ②自然の魅力を活かしたまちを目指すことについて
- ③地域活動が盛んなまちを目指すことについて
- ④行政の対応全般について



稲村 信成 議員

市民の安全確保が最優先ではないか！



羽咋すこやかセンター(旧文化会館)

会館全体の基礎耐震調査を遅らせたのはなぜか？

【質問】 旧文化会館東側、四ヶ所の基礎補強工事の時に地中の基礎・杭に構造的なひび割れが発見された。基礎・杭をすっぽり鉄筋コンクリートで囲い、かつ補強の地盤強化も施工。この時に残る八ヶ所の基礎等を調査し、安全度の確認をしないのはなぜか。市民の安全確保を優先するべき。

【答弁】 工事中に判明した東側基礎のクラック補修については、安全な構造となるよう県耐震診断等評定委員会の委員の見解を頂きながら補修方法を検討して決定した。

中学外構工事の入札が三回も不調の原因は？

【質問】 中学校の同一外構工事が三回も不調。その後入札辞退業者と随意契約をしたと聞く。地元の業界では、本市の入札は設計価格も最低価格も低すぎる等々、業者の首を締める入札には参加出来ないとの不信感の声を聞く。市長の考えを聞く。

【答弁】 大震災の復興拡大、公共事業の発注増等々による人件費、資材の高騰などの影響。発注時期や工期設定等々業者対応を考える。随意契約の件は地方自治法に基づき実施した。

その他の質問

- ①ユーフォリア千里浜の指定管理
- ②ホテルゆ華の購入
- ③学童バスの運行



高田 甚哉 議員

安全安心な意識向上を示せ



暴風雨の爪痕

平成27年度決算の目標数値を示せ

【質問】 平成24年度決算では経常収支比率は98.3%、実質公債費比率は17.7%である。これは100億円の予算と仮定した場合、残りの余裕額が1億7千万で窮屈な財政状況である。平成27年度決算報告は平成28年9月になり、市長の4年間の総括時期である。平成27年度の決算予測はどのようになるか。

【答弁】 一般会計市債残高は約135億円、経常収支比率は95.1%、実質公債費比率は16%と見込んでいる。市債残高は平成24年度と比較して19億円増額となる。補助金等については、優先順位などを慎重な検討が必要になる。

安全安心の情報を示せ

【質問】 安全安心の街づくりの基本は、確かな情報の共有と訓練である。場所を変え、町会を変え、時間を変え、被災内容を変えての予想訓練を毎年実施されている。

事業所や工場の防災について報告はどうなっているか。

【答弁】 企業などへの情報の提供が基本であり、企業からの逆提案は伺っていない。担当課に提案があれば委員会に答弁する。

その他の質問

①図書館の利用状況について



寺井 哲也 議員

スピードのある対策を！



平成27年春開業の北陸新幹線

新幹線開業に向けたアピールを！

【質問】 東京の県アンテナショップが来年秋に移転し、店舗面積を増やし、新幹線開業に向けて首都圏で石川を売り込む総合拠点となる。本市の魅力もぜひ売り込むために、移転を機に県や関係機関に働きかけ、当市の陳列棚を拡大したらどうか。

【答弁】 イベントスペースを設置し、各市町が情報発信できるよう県において検討がされている。これらの機能を十分に活用し観光情報の発信強化に努めたい。また、店舗移転や店舗面積の拡大並びに取扱商品の拡大を機に、商店や事業者、商工会、観光協会などとの連携を図りながら本市特産品の販売強化を進めていきたい。

イノシシ被害防止を！

【質問】 近年、イノシシが増え被害も目撃情報も出ている。邑知・余喜地区の山沿いでは田畑の作物等に被害が出ている。また、民家の裏まで来ているなど、人間のすぐ近くまで来ており、今後、人的被害が出ないか大変心配がされる。市として今後の対策をどのように考えているのか。

【答弁】 現在、地域ぐるみで山際に接する農地の草刈り等の管理徹底や、各種防護柵等による進入防止策に取り組むよう指導を行っている。今後も引き続き、県など関係機関との連携を図りながら検討会や講習会を通して、柵やおりの効果的な運用と被害の軽減に努めたい。

その他の質問 ①学力向上について



入札不調、すこやかセンター 耐震工事に疑い

山本 泰夫 議員

羽咋中学校入札不調問題

【質問】 中学校の外構工事入札が3回不調に終り、辞退した業者と随意契約されたと聞く。地方自治法では、2社以上の見積りが必要となっているにもかかわらず1社だけの見積りでの契約は疑いをもたれている。果たしてこれでいいのか。また、工期遅れの影響による新校舎での学校生活が1月8日に間に合うのか。

【答弁】 3回の入札を実施するが不調となる。本来ならば3社以上の業者で見積り合わせをすべきであるが、随意契約の相手は入札辞退した業者で、下請工事に入っている関係もあり、法令に従い予定価格を変更せず、工期延長により契約を締結。また、校舎棟供用開始までに完成させる部分とその後外構工事や現校舎等の解体工事を実施する予定。



羽咋中学校外構工事

すこやかセンター基礎補修工事問題

【質問】 耐震診断の結果、本来ならば壊すべき建物に耐震改修工事を実施。7月10日に完了している建物にもかかわらず、基礎工事費用として新たに5,900万円の予算が追加された。基礎部分を度外視した工事を実施したのか。また、入居団体、来訪者の安全安心の確保をどう考えているのか。

【答弁】 建物の耐震補強工事を実施。基礎部分は耐震診断の調査から除外されている。基礎及び杭のクラックは工事中に判明。入居団体、来訪者に対しては、建物の現状や工事の詳細等を説明し、事故のないように工事を進める。



さらなる安全・安心の確保 のために

浜名 等 議員

羽咋川河口右岸の堤防整備を

【質問】 羽咋川右岸の汐見大橋より金毘羅神社までの川岸には桜並木があり、また、川には漁船などが係留されており、のどかな風景となっている。この間、約330メートルには堤防がないため、北新地区住民は大きな不安を感じている。早急な堤防整備をお願いする。

【答弁】 市民の津波等に対する安全・安心を確保するために、県に対して羽咋川右岸堤防の整備を今後も引き続き要望したい。

今後の地域防災組織のありかたについて

【質問】 地域で活動する防災組織は、今後、歴史ある自衛消防隊から自主防災組織へ、そして最後には地域の住民が助け合い、そして支え合う地域



堤防整備が求められる羽咋川右岸

コミュニティ組織へ発展するためにも、防災組織の活動は重要である。

本市における防災組織の活動内容と今後の方向性を聞く。

【答弁】 平成25年11月末現在、自衛消防隊や自警団を含めた自主防災組織等は35団体であり、今年度は組織替えにより3団体が結成され、現在7団体が新規結成または組織替えを進めている。また、防災士の資格取得者は、新たに14名が加わり50名となっている。今後は、地域の防災力の強化や地域の連携などにつながるように、意見交換や学習の場となる防災士等の連絡会の開催を検討する。



櫻井 英一 議員

羽咋中グラウンドを安全で 使いやすく整備を



シルバー人材センター

生徒が安心して使えるグラウンドに

【質問】 羽咋中学校のグラウンドは、野球部が練習する内野と陸上部のトラックの一部が重なっている。そのため、野球部と陸上部の生徒同士がぶつかったりするという危険がある。その対策は。また、新校舎敷地内にジョギングコースを作れないか。

【教育長答弁】 現在あるプールの解体後にトラックを東側に移設し、安全な距離を確保する計画である。また、敷地内ジョギングコースについては、グラウンドから新校舎棟の南側を回るコースを計画しており、改築工事が完成すれば1周およそ650メートルの周回コースができる。コースは一般市民も使えて、段差解消のスロープや照明を設置する予定である。

シルバー人材センターへの積極的支援を

【質問】 高齢者の就業機会の確保、社会参加の促進、生きがいや健康維持といった重要な役割をシルバー人材センターは担っている。本市では、高齢者数が増加しているにもかかわらず、会員数は減少傾向である。もっと積極的な支援を。

【答弁】 シルバー人材センターは、高齢者の就労支援や社会参加を促進するための核となる組織であり、地域の発展にも大いに貢献しているものと認識している。市としても、公共事業の発注増などに努めるとともに、啓発活動などの支援に力を注いでいく。

その他の質問

①行政データ等の情報管理対策について



塩谷 久司 議員

羽咋再生は予算の選択と 集中が重要



羽咋市庁舎

経常収支比率悪化の要因と対策は

【質問】 財政運営の健全化を測る「経常収支比率」は県下ワーストワン。自由に使えるお金が少なく財政が硬直化している。要因と対策は。

【答弁】 平成19年度の106.4%をピークに人件費、経常経費の削減で平成22年度には93.8%に改善。平成23、24年度は市税の減収、退職者の増加により98.3%になった。一層の行財政改革、受益者負担、遊休地の活用、収納率のアップなど自主財源の確保を図る。総人件費の削減、民間委託の推進、市民協働など、行政の効率化とスリム化を進める。

来年度予算の具体的な事業展開は

【質問】 企業誘致や若者定住策の成果も表れ、財政再建、黒字化を実現。また、計画的な財政運営で借金は減少、実質公債費比率や将来負担比率は改善されたが、国は緊縮財政にかじを切るため引き続き厳しい財政運営になる。政策分野に集中する予算の選択と集中こそ重要であり、来年度予算の具体的な事業展開は。

【答弁】 羽咋再生を押し進め、交流人口の拡大や定住人口の確保を重点施策と位置づける。交流人口の拡大では、のと里山海道の無料化の活用、羽咋駅周辺整備や地域の観光交流資源の開発と整備を図り、滞在滞留型観光を押し進める。定住人口確保では、駅東の宅地造成及び販売や子育て応援施策の充実を図る。

平成25年 第6回定例会

12月議会

◇平成25年度の一般会計補正予算をはじめ全議案を可決

平成25年度一般会計補正予算(第5号)、羽咋市課制条例の一部改正、千里浜児童センター・ユーフォリア千里浜の指定管理者の指定等市長提出議案15件、報告1件を可決・承認。請願については3件を不採択、2件を継続審査とした。議員提出議案では「手話言語法」制定を求める意見書の提出についてを全会一致で可決した。市長追加提出議案及び諮問の5件を原案同意・適任とした。

◇議員提出議案の審査結果

議案番号	件 名	議決年月日	結 果
議員提出議案第7号	「手話言語法」制定を求める意見書の提出について	H25.12.9	原案可決

◇請願の審査結果

議案番号	件 名	議決年月日	結 果
請願第7号	「秘密保護法」制定に反対する請願	H25.12.16	不 採 択
請願第8号	国に対し「2014年4月からの消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願	H25.12.16	不 採 択
請願第9号	「秘密保護法」制定に反対する意見書を求める請願	H25.12.16	不 採 択
請願第10号	羽咋中学校に「サッカー部」の創設を求める請願	H25.12.16	継続審査
請願第12号	T P P 交渉に関する請願	H25.12.16	継続審査

◇市長提出議案の審査結果

諮問番号	件 名	議決年月日	結 果
市長提出議案第78号	副市長の選任につき同意を求めることについて	H25.11.29	原案同意
市長提出議案第79号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	H25.12.16	原案同意
市長提出諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	H25.12.16	適 任
市長提出諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	H25.12.16	適 任
市長提出諮問第5号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	H25.12.16	適 任
市長提出諮問第6号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	H25.12.16	適 任

総務文教常任委員会報告

◎高田 甚哉 ○寺井 哲也 浜名 等 新田 義昭
塩谷 久司 山本 泰夫 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第64号「平成25年度羽咋市一般会計補正予算(第5号)」中、当委員会所管分など議案5件及び報告1件並びに請願4件、陳情1件。これらの案件について、委員会を開催し、説明を聴取し慎重に審査を行った結果、議案5件及び報告1件については、課制条例の議案第70号を除く議案は、全会一致で原案のとおり可決または承認した。議案第70号については、採決したところ可否同数となり、委員長が可否を採決し可決。

次に請願第7号「秘密保護法制定に反対する請願」、請願第8号「国に対し2014年4月からの消費税増税中止を求める意見書の提出を求める請願」、請願第9号「秘密保護法制定に反対する意見書の提出を求める請願」については、賛成少数で不採択とした。請願第10号「羽咋中学校にサッカー部の創設を求める請願」については、議会が学校の教育にサッカー部創設の請願を出すことに反対との意見と慎重に継続審査すべきという意見があり、採決した結果、可否同数となり委員長裁決で継続審査とした。

審議の過程での主な質疑・要望は以下のとおり。

【質問】ユーフォリア千里浜の指定管理について、地域密着型施設としての運営や建物修繕契約の内容はどうなっているのか。

【答弁】浴場・プール・食堂の3部門が総合的・有効的に利用ができ、地域に密着した施設運営ができる業者を選考した。また、修繕契約については、軽微な修繕は指定管理者が契約金額の中で行い、大規模な修繕については、中期財政計画による優先順位で市が行うことになると思うが、修繕内容や規模などについては、基本協定・年度協定の締結協議の中で検討し契約を行いたい。

【質問】建設課の一般会計と上下水道課の公営企業会計が地域整備課として、統合することの目的は何か。また、所管課長の負担が増大するのではないか。

【答弁】統合する目的は、行政改革の一環として統合することと、水道管・道路の破損、災害発生時に早期の対応と対策が図られることで、市民への一層のサービスを向上させるためである。また、所管課長の負担軽減を検討したい。

産業厚生常任委員会報告

◎大塚 幸男 ○松永 幸則 北川 真知子 櫻井 英一
稲村 信成 中村 重幸 中村 孝清

当委員会に付託された案件は、議案第64号「平成25年度羽咋市一般会計補正予算(第5号)」中、当委員会所管分など議案10件、報告1件及び請願1件。

これらの案件について、委員会を開催し説明を聴取し慎重に審査を行った結果、議案及び報告のうち、議案第75号「羽咋市公共下水道条例等の一部改正について」は、賛成多数により原案のとおり可決し、残りの議案9件及び報告1件については、全会一致をもって、原案のとおり可決または承認した。

請願第12号「TPP交渉に関する請願」については、委員全員から各種意見が出された。意見内容は、農産品5品目の関税撤廃の除外ができない場合はTPP交渉から撤退すべきであり、本請願の趣旨に賛成であるという意見と現状では交渉状況の推移を今しばらく見守る必要があり、継続審査とすることが好ましいとの意見が出された。これらの意見の後、採決した結果、賛成多数により継続審査とした。審査過程での主な質疑・要望は以下の通り。

【質問】議案第75号、羽咋市公共下水道条例等の一部改正について、本市における現在の基本使用水量内の世帯数は25%以上の大幅な料金値上げとなる。使用水量の少ない世帯は高齢者や年金受給者が多いが、改正を行うのか。

【答弁】現在、本市の基本使用水量は8㎡であるが、県内のほとんどの市町は、10㎡である。改正内容は基本料金の1㎡あたり単価を変更せず、超過料金を現行より10%増とするものであり、使用水量に関しては十分考慮をしたものである。下水道事業会計健全化のための一助として、ご理解を願いたい。

【質問】報告第15号、平成25年度羽咋市一般会計補正予算第4号における、本年8月及び9月に発生した豪雨災害復旧事業について、飯山町地内の急傾斜地対策の事業内容と今後の対応策は。

【答弁】豪雨による急傾斜地の法面崩壊等に対応した災害復旧工事であり、住民の安全・安心を確保するため早急に対応する必要がある。県事業の予定であり、事業費の4分の1は地元町会が負担することとなる。この件については地元町会に説明し、連絡待ちとなっている。今後も改修工事等については、早期に対応、検討していく予定である。

お詫びと訂正

前号10月号の産業厚生常任委員会報告(7ページ)の記載で誤りがありましたので、お詫び申し上げます。

文中左 (誤) 1年経過→(正) 1月経過

●●● 市民の声 ●●●

議会へエール

T.M (富永地区・50代・男性)

12月議会から、新しい議員の方々が質問をしているのを見ました。最初に自分の初心の表明がありました。今の気持ちを大切に、羽咋の将来の為に頑張ってくださいと思います。また、任期を重ねた議員の方々も初心を忘れずに先輩議員として、市の為に頑張ってください。羽咋市はいろんな面において、近隣の市町と比べられます。負けないような取り組みをお願いします。

市民の安全・安心を

K.S (呂知地区・60代・女性)

今年は、大雨の影響による災害がたくさんありました。強い雨が降るたびに、河川の氾濫や道路や田畑への冠水、がけ崩れなど心配が募ります。あるところでは、まだ崖崩れの修復工事が終わっていないそうです。これから雪の季節に入り、引き続き心配が絶えないと思います。安心・安全な暮らしのために、議会でも強い働きかけをお願いします。

お知らせコーナー

「市民の声」を募集

議会だより編集委員会では、市民の皆様の声を募集しています。議会に対しての感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。

〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局 ☎22-7160 FAX 22-7210
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議会定例会は3月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信(生中継)しています。また、

録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ左欄の「議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

会議録、閲覧できます

市議会だよりに掲載されている質疑・質問は、議会で発言された内容の一部です。定例会の内容は、会議録にすべて記載されています。詳しくは、図書館、議会事務局、公民館で会議録をご覧ください。市のホームページにも掲載しています。

なお、平成25年12月議会の会議録は、3月上旬に閲覧できる予定です。

編集後記

この秋、私が所属する会派で羽咋市の重点事項である、国道159号羽咋道路・415号羽咋バイパスの事業促進、千里浜海岸整備事業促進等について、国と県選出の国会議員に今年度2回目の要望に行ってきました。その折に、いろいろな助言をいただきました。人と人との繋がりの大切さを感じたところです。このような要望活動の取り組みが実を結ぶことを期待し、市のために更なる活動をしていきたいと思っています。

改選に伴い、議会だより第60号からは編集委員も新たなメンバーとなりました。議会だよりが、より一層充実した紙面になるようにしていきたいと思っています。

(寺井 哲也)

議会だより編集委員会
(☎0767-22-7160)

委員長 高田 甚哉
副委員長 寺井 哲也
委員 松永 幸則
濱名 等
北川真知子